

に細い縦溝を、また、中央部から後角に伸びる1対の横隆起をそなえ、表面は細かく、密に点刻される。小楯板はやや角張り、先端部は三角状に凹む。上翅はほぼ平行状、わずかに後方に向けて広がり、長さは幅の約2.7倍、前胸の長さの約5.7倍。上翅はそれぞれ4本の第1次縦隆線をそなえ、隆線間は丸く、不規則な2点刻列をもつ。雄の第8腹板は先端で丸く凹む。第9腹板はスプーン状、先端に向けて徐々に狭まる。脚は中位の長さで、後脛節は細長く、先端に向けてわずかに広がる。附節の爪は単純。雄交尾器は長楕円形、ペニスは細長く、先端部は鋭く突出する。側片は長く、先端部で強く狭められ、背面から見て内縁中央に1対の鈍い三角状の突起をもつ。基片は比較的小さい。雌は未見。7月に出現する。分布：屋久島。

未筆ながら、本稿をまとめるにあたり、貴重な標本の協力をいただいた福岡市の緒方靖哉博士、倉敷市の渡辺昭彦氏、横浜市の秋山秀雄氏、横須賀市の川島逸郎氏、沖縄県と那原町の松村雅史氏に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Bocák, L. & M. Bocáková, 1990. Revision of the suprageneric classification of the family Lycidae (Insecta: Coleoptera). *Polskie Pismo Entomologiczne*, 59: 623–676.
- Bocák, L. & M. Bocáková, 2008. Phylogeny and classification of the family Lycidae (Insecta: Coleoptera). *Annales Zoologici*, 58: 695–720.
- Bocáková, M., & L. Bocák, 2007. Lycidae, pp. 211–224. In *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, Vol. 4, Elateroidea-Derodontoidea-Bostrichoidea-Lymexyloidea-Cleroidea-Cucujoidea, edited by I. Löbl & A. Smetana, Apollo Books, Stenstrup: 935 pp.
- Green, J. W., 1951. The Lycidae of the United States and Canada. III. The tribe Platerodini (in part) (Coleoptera). *Transactions of the American Entomological Society*, 77: 1–20.
- Kazantsev, S. V., 2004. Phylogeny of the tribe Erotini (Coleoptera, Lycidae), with descriptions of new taxa. *Zootaxa*, 496: 1–48.
- Kazantsev, S. V., 2005. Morphology of Lycidae with some considerations on evolution of the Coleoptera. *Elytron*, 17: 73–248.
- Kiesenwetter, E.A.H, 1874. Die Malacodermen Japans, nach dem Ergebnisse der Sammlungen des Herrn G. Lewis während der Jahre 1869–1871. *Berliner Entomologische Zeitschrift*, 18: 241–288.
- Kleine, R., 1933. Lycidae, Coleopterorum Catalogus, edited by S. Schenkling, Pars 128, 145 pp., W. Junk, Berlin.
- Matsuda, K., 1992. Two new species of the genus *Eropterus* Green from Taiwan (Coleoptera, Lycidae). *Entomological Review of Japan*, Osaka, 47: 91–98.
- Matsuda, K., 2009. Taxonomic notes on the lycid beetles (Coleoptera, Lycidae) from Japan I., Description of five new taxa from the Ryukyu Islands, Southwest Japan. *Entomological Review of Japan*, Osaka, 64: 181–187.
- Matsuda, K., 2011. A new species of the lycid genus *Eropterus* (Coleoptera, Lycidae) from Taiwan. *Matsumushi*, Special publication of the Japanese Society of Scarabaeoidology, Tokyo, (1): 235–241.
- Nakane, T., 1969a. Lycidae (Insecta, Coleoptera), *Fauna Japonica*, Academic Press of Japan, Tokyo. 224 pp.
- Nakane, T., 1969b. New species of Lycidae from Formosa, with notes on some known species (Insecta: Coleoptera). *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo*, 12: 9–16.
- Ohbayashi, K., 1954. Five new species of Lycidae from Japan (Coleoptera). *Mushi*, 26(6): 19–22.
- Satô, M. & N. Ohbayashi, 1968. Notes on the lycid-beetles of the Ryukyu Archipelago. *Entomological Review of Japan*, Osaka, 20: 65–72.
- 佐藤正孝・松田 潔, 1985. ベニボタル科. 原色日本甲虫図鑑, III, pp. 92–107, 109, 保育社, 大阪.

(2014年12月16日受領, 2015年2月18日受理)

【短報】沖縄県慶良間諸島におけるタマムシ2種の記録

慶良間諸島は、沖縄島東部の海上に散在する島嶼群であるが、タマムシ類の分布記録は少ない。その内面積の大きい3島から下記のタマムシを採集したので記録しておく。採集者はすべて楠井で、いずれもそれぞれの島から新記録である（大桃・福富, 2013）。

1. エサキクロタマムシ *Buprestis esakii* Y. Kurosawa *lex.*, 渡嘉敷島（島尻郡渡嘉敷村）, 12. VIII. 2006; 1♀, 座間味島（島尻郡座間味村）, 25. V. 2014.

台湾から記載され、日本からは沖縄島と久米島から少数が得られているが、沖縄島の記録はとくに少ない。

渡嘉敷島では、道路工事中の側溝に落ちていた

ものを採集した。また、座間味島の個体は、高月

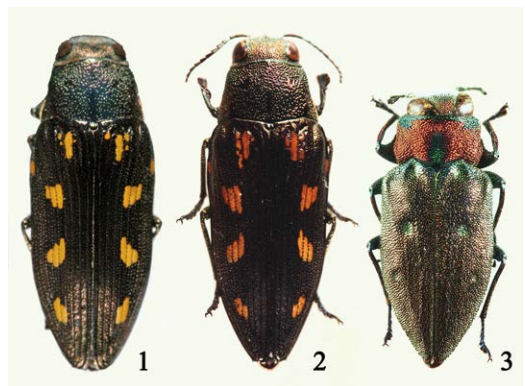


図1. エサキクロタマムシ渡嘉敷島産；図2. 同座間味島産；図3. オキナワムツボシタマムシ阿嘉島産。

山の山頂付近の松林内のクモの巣に掛かっていたものである。この松林は、山頂付近の在来樹を松とヤマモモだけ残して切り払って、その後に桜など園芸樹を植えた直後であった。

2. オキナワムツボシタマムシ *Chrysobothris saliaris* Y. Kurosawa

1♀, 阿嘉島 (島尻郡座間味村), 22. V. 2014.

本種は、沖縄島、沖永良部島および伊平屋島に分布する原名亜種と石垣島、西表島に分布する別亜種 *C. s. yaeyamana* Y. Kurosawa が知られる。両者は上翅の縦隆条の強さと、6 紋型か 4 紋型かで区別されている。本個体は 6 紋型で上翅の縦隆条が基半部で微弱になることから、原名亜種に含められる。

細い立ち枯れ木の叩き網で獲られたもので、霧雨が降っていたため飛翔できずに網に落下したようである。

引用文献

大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑, 206 pp. むし社.

(楠井 善久 903-0805 那覇市首里鳥堀町 4-123-1 東苑荘 1-E)

【短報】佐渡島のゴミムシダマシ3種の記録

筆者は 2012 年 9 月に新潟県佐渡島を訪れた際、下記ゴミムシダマシ科甲虫 3 種を採集しているので報告する。これらは中條・馬場 1979, 楠井 1988, 益本 2007 ほかの文献においても佐渡島からの記録は見当たらず、同島初記録と思われる。

1. コブスジツノゴミムシダマシ *Boletoxenus bellicosus* (Lewis, 1894) (図1)

9♂6♀, 新潟県佐渡市真光寺, 16. IX. 2012.

直径 30 センチほどのかなり古いブナの倒木内部から得られた。

2. オオナガニジゴミムシダマシ *Ceropria sulcifrons* Harold, 1878 (図2)

1♂, 新潟県佐渡市金井新保, 15. IX. 2012, 5♂1♀, 同, 16. IX. 2012.

3. コツヤホソゴミムシダマシ *Menepphilus lucens* Marseul, 1876 (図3)

1♀, 新潟県佐渡市金井新保, 15. IX. 2012, 1♂. 同, 16. IX. 2012.

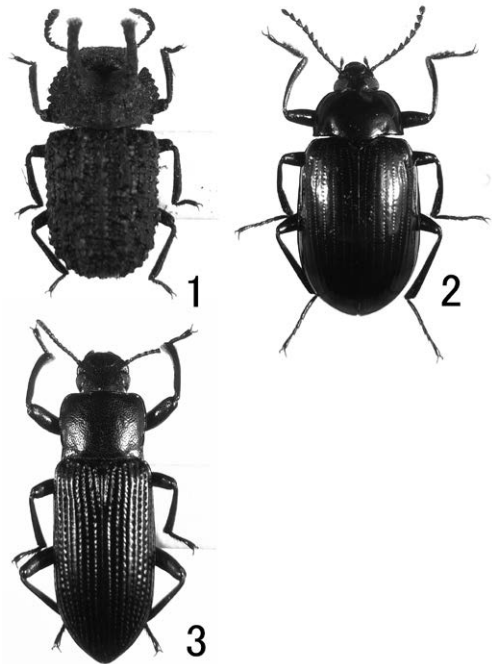


図1-3. 佐渡島産ゴミムシダマシ. 1, コブスジツノゴミムシダマシ♂; 2, オオナガニジゴミムシダマシ♂; 3, コツヤホソゴミムシダマシ♂.

2 および 3 の両種とも主に夜間、クヌギの洞付近で活動中のものを採集した。同所ではナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta induta* (Wiedemann, 1819), クロツヤキノコゴミムシダマシ *Platydemia nigroaeneum* Motschulsky, 1861, ルリゴミムシダマシ *Derosphaerus subviolaceus* (Motschulsky, 1860), ニジゴミムシダマシ *Tetraphyllus paykullii paykullii* (Dalman, 1823) などゴミムシダマシ科甲虫が多数見られた。

末筆ながら、いろいろとご教示を賜った近藤茂昭氏、文献をご提供いただいた楠井善久氏に厚くお礼申し上げます。

引用文献

中條道崇・馬場金太郎, 1979. 新潟県のゴミムシダマシ科甲虫, 新潟県の昆虫 (越佐昆虫同好会々報 50 号慶祝論文集), 49-63.

楠井善久, 1988. 新潟県頸城地方および佐渡島におけるゴミムシダマシ科の採集記録. 越佐昆虫同好会々報, 66: 23-26.

益本仁雄, 2007. ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae. 森本 桂 (監修), 新訂原色昆虫大図鑑第 II 卷 (甲虫篇), 260-277. 北隆館, 東京.

(須田 亨 372-0006 伊勢崎市太田町 770-4)